

## 学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

国立大学法人長岡技術科学大学

法人番号：35

学部・研究科等番号・名称：01・工学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 分析項目Ⅱ 教育成果の状況</p> <p>【原文】 現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。 〔特色ある点〕</p> <p>【申立内容】 【修正文案】のとおり文章を追加いただきたい。</p> <p>【修正文案】 現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。</p> <p>〔優れた点〕 ○ 「<u>本学出身者就業状況調査</u>」を定期的に実施（平成30年度、回答率56.7%）している。この調査の中で離職率について確認しており、<u>長岡技術科学大学出身学生の3年間（平成27年度から平成29年度入社）の離職率は平均5.0%であり平成27年度入社3年以内の離職率は6.5%であった。これは厚生労働省が公表している平成27年3月卒業者の離職率31.8%と比較しても非常に低い。</u></p> <p>〔特色ある点〕</p> <p>【理由】 達成状況評価の小項目1-3-2では、本学卒業・修了者の就業後3年以内離職率が非常に低いことについて、「優れた点」とする評価結果（案）を受けているので、優れた成果を出している、もしくは第2期中期</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。 (修正内容) 現況調査表等では、当該取組がなされていることは確認できるものの、「優れた点」とまではいえない。</p>

目標期間終了時点から比べて目覚ましい状況にあるという判断を受けているといえる。

一方で、工学部及び工学研究科にかかる現況調査票（教育）の分析項目Ⅱ選択記載項目Cでほぼ同様の内容を記載しているが、こちらの現況分析結果（案）では特段何も触れられていない。

教育分野の現況分析では「各学部・研究科等の目的や特徴、特色等に即して、優れた取組及び特徴的な取組、並びにそれらの成果が認められる場合には、その内容に応じて「優れた点」や「特色ある点」として抽出」するので、達成状況評価の小項目1-3-2で高い評価を受けている点は現況分析結果においても抽出され高い評価を受けるのが自然であるが、そうになっていないので、記載をご検討いただきたい。

## 学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

国立大学法人長岡技術科学大学

法人番号：35

学部・研究科等番号・名称：02・工学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> 分析項目Ⅱ 教育成果の状況</p> <p><b>【原文】</b> 現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。</p> <p><b>【申立内容】</b> <b>【修正文案】</b> のとおり文章を追加いただきたい。</p> <p><b>【修正文案】</b> 現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。</p> <p><b>〔優れた点〕</b> <u>○ 「本学出身者就業状況調査」を定期的</u> <u>的に実施（平成30年度、回答率56.7%）して</u> <u>いる。この調査の中で離職率について確認</u> <u>しており、長岡技術科学大学出身学生の3年</u> <u>間（平成27年度から平成29年度入社）の離</u> <u>職率は平均5.0%であり平成27年度入社</u> <u>の3年以内の離職率は6.5%であった。これは厚</u> <u>生労働省が公表している平成27年3月卒業</u> <u>者の離職率31.8%と比較しても非常に低い</u> 。</p> <p><b>【理由】</b> 達成状況評価の小項目1-3-2では、本学卒業・修了者の就業後3年以内離職率が非常に低いことについて、「優れた点」とする評価結果（案）を受けているので、優れた成果を出している、もしくは第2期中期目標期間終了時点から比べて目覚ましい状況にあるという判断を受けているといえる。</p>	<p><b>【対応】</b> 原案のとおりとする。</p> <p><b>【理由】</b> 現況調査表等では、当該取組がなされていることは確認できるものの、「優れた点」とまではいえない。</p>

一方で、工学部及び工学研究科にかかる現況調査票（教育）の分析項目Ⅱ選択記載項目Cでほぼ同様の内容を記載しているが、こちらの現況分析結果（案）では特段何も触れられていない。

教育分野の現況分析では「各学部・研究科等の目的や特徴、特色等に即して、優れた取組及び特徴的な取組、並びにそれらの成果が認められる場合には、その内容に応じて「優れた点」や「特色ある点」として抽出」するので、達成状況評価の小項目1-3-2で高い評価を受けている点は現況分析結果においても抽出され高い評価を受けるのが自然であるが、そうならないので、記載をご検討いただきたい。

## 学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

国立大学法人長岡技術科学大学

法人番号：35

学部・研究科等番号・名称：02・工学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> 分析項目 I 教育活動の状況</p> <p><b>【原文】</b> 〔特色ある点〕</p> <p>○ 平成30年度に10か国の高等教育機関が集ったPanel on GIGAKU Educationの議論に基づき、SDGsにフォーカスした<u>本プログラムを複数国の複数大学から構成させる世界的な教育ネットワーク「ユニツイン」</u>として世界に展開するため、6か国9機関と共にユネスコへ設立申請を行った。</p> <p><b>【申立内容】</b> <b>【修正文案】</b> のとおり変更願いたい。</p> <p><b>【修正文案】</b></p> <p>○ 平成30年度に10か国の高等教育機関が集ったPanel on GIGAKU Educationの議論に基づき、SDGsにフォーカスした「<u>技学インスティテュート</u>」プログラムを複数国の複数大学から構成させる世界的な教育ネットワーク「ユニツイン」として世界に展開するため、6か国9機関と共にユネスコへ設立申請を行った。</p> <p><b>【理由】</b> 原案の表記では何のプログラムについて述べたかを特定できず、同一文章中でプログラムを特定する必要があるため。</p>	<p><b>【対応】</b> 意見を踏まえ、以下のとおり修正する。</p> <p>(修正内容)</p> <p>○ 平成30年度に10か国の高等教育機関が集ったPanel on GIGAKU Educationの議論に基づき、SDGsにフォーカスした「<u>技学インスティテュート</u>」プログラムを複数国の複数大学から構成させる世界的な教育ネットワーク「ユニツイン」として世界に展開するため、6か国9機関と共にユネスコへ設立申請を行った。</p>